

独奏—OTO Vol. 1

# 三瀬俊吾 × OTOの会

(ヴァイオリン)

井上 渚：SONGLINE

～独奏ヴァイオリンのための～

大家百子：Frogfish Soliloquy

カエルアンコウの 独り言

～for violin solo～

田邊 皓：《Focus I》 for Violin Solo

築田佳奈：it...0

長江香織：独りの遊び

名倉明子：虹窓

橋本 忠：無言歌 ～独奏ヴァイオリンのための～

深澤 舞：Do You Know My Name?

三瀬和朗：「六つの花」

独奏ヴァイオリンのための

芳澤 奏：Ori-Ori

(曲順未定)

2022年 7月 24日(日)

14:00 開演 (13:30開場)

東京オペラシティ リサイタルホール



おと  
主催：OTOの会  
<https://otonokai.jimdofree.com>

後援：(特非)日本現代音楽協会



**LIVE** ライブ配信：1,500円

コンサートの一部始終をご自宅などでリアルタイムでご視聴いただけます。

事前にウェブよりお申し込みください。詳細はOTOの会ウェブサイトにてご案内しています。

一般 3,000円 / 学生 2,500円  
(全席自由)

チケット予約

・OTOの会 (otonokai@gmail.com)  
・東京オペラシティチケットセンター  
(03-5353-9999 電話 10～18時)



井上 渚  
Nagisa Inoue

国立音楽大学附属小学校から高等学校ピアノ科卒業。桐朋学園大学及び、同大学研究科、作曲科を修了。Universität Mozarteum SalzburgにてMasterstudiumを修了。第87回日本音楽コンクール作曲部門（オーケストラ作品）にて第1位受賞。作曲を三瀬和朗氏、金子仁美氏、Reinhard Febel氏に師事。ピアノを三瀬あけみ氏、猪野幸子氏、Michael Walter氏に師事。現在、桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、非常勤講師。



大家 百子  
Momoko Oya

桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科修了。文化庁海外派遣研修員として渡独、独仏に計10年滞在の後、帰国。作曲を故末吉保雄、W.リーム、故G.リゲティの各師に師事。第46回日本音楽コンクール第2位（室内楽部門）、文化庁舞台芸術創作奨励賞（管弦楽部門）他を受賞。主要作品：女声合唱組曲「はんぶんづき」（音楽之友社刊）童謡「こどものつばやき」（CD/カメラタウキョウ）三味線とオーケストラのための「齋舞」他。



田邊 皓  
Hikaru Tanabe

1995年生まれ。5歳よりピアノ、12歳より作曲、17歳より指揮を始める。ピアノを金子慶子、三瀬あけみ、法倉雅紀の各氏に、作曲を三瀬和朗氏に、指揮を梅田俊明氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部作曲専攻を経て、同大学研究科を修了。桐朋学園主催の作曲作品展、調布国際音楽祭2019などに出品。2019年より桐朋学園大学附属子どものための音楽教室非常勤講師。2020年より東邦音楽大学非常勤講師を務める。



築田 佳奈  
Kana Tsukuda

桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科卒業後、同大学研究科修了。第3回日本サクソフォン協会主催作品コンクール入賞。第12回武生国際音楽祭招待作曲家（公募）。作曲を三瀬和朗、原田敬子両氏に師事。2011年までK-BALLET COMPANYに所属。バレエピアニスト及び同カンパニーの公演作品の作編曲も手がける。現在、様々な団体に楽曲提供を行う他、親子で楽しむ絵本コンサートを主宰。桐朋学園大学非常勤講師。



長江 香織  
Kaori Nagae

16歳より作曲を始める。2009年桐朋学園大学卒業。12年同大学研究科修了。瀬山詠子プロデュースで歌曲を発表。学校推薦で国立音楽大学に於いてチェロ独奏曲を発表。自身もダンス経験があることから、身体の動きのイメージと感覚を作曲する上で重要視している。作曲を三瀬和朗、原田敬子、ピアノを三瀬あけみの各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部子供のための音楽教室ソルフェージュ講師。

## 「独奏-OTO」に寄せて

OTOの会新作コンサートシリーズの新企画として、「独奏-OTO」が始まりました。

未曾有の事態で、コンサートの通常開催が難しくなって3年目になります。そうした中、新たなコンサートの形を模索するところからのスタートでした。

舞台上に演奏家1名のみ  
ソロプロジェクト/  
演奏家と作曲家の1対1で協業  
しながら作品制作を進めていく/  
ミーティングやリハーサルは  
全てオンラインで行う・・・

今後また不測の事態が訪れた時にも、音楽を発信し続けられる形の一つを探ることができたらと考えております。今回は記念すべき第1回に、ヴァイオリンの三瀬俊吾さんをお迎え致しました。ぜひ会場やライブ配信で、お見届けください。

「独奏-OTO」Vol.1企画運営責任者  
深澤 舞



©Maki Takagi

## 三瀬 俊吾 Shungo Missé

東京音楽大学卒業後、桐朋学園大学院大学修了。篠崎功子、岡山潔、藤原浜雄の各氏に師事。第1回横浜国際音楽コンクール弦楽器一般部門第1位（2位なし）。同コンクールより奨学金を得、パリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学。教育課程、研修過程修了。ドゥヴィン・エルリー、原田幸一郎の各氏に師事。定期的に千々岩英一氏の指導も受けながら、パリでソロや室内楽、新作の演奏活動も行う。2010年帰国。2009年「室内楽-OTO 第1回三瀬俊吾のヴァイオリンとともに」に出演し7作品の初演を行う。OTOの会では、室内楽-OTOシリーズのほか、「面白現代音楽～永井由比のフルートとともに～」に出演し、第1回「わたしにもひけるかな？」にピアノ演奏で出演している。2011年に結成した淡座は、現代音楽に江戸文化を取り入れて新しい表現を行うクリエイショングループで、2018年には一般社団法人となり、現在代表を務めている。mmm...、リレーション'70、目黒弦楽四重奏団、オーケストラトリプティークなどに所属し、ソロや室内楽やオーケストラなど幅広く活動中。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

宇都宮市生まれ。東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。第17回現音作曲新人賞、第70回日本音楽コンクール作曲部門第1位、第4回宇都宮エスペール賞、第2回牧野由多可賞作曲コンクール佳作。近作に「さくらはじめてひらく」（二十絃箏ソロ・宇都宮市委嘱）、「書屋の蝶」（三味線ソロ・本條秀慈郎氏委嘱）など。現在、山形大学地域教育文化学部教授。（特非）日本現代音楽協会、アブサラス、各会員。

桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業、同研究科修了。作曲を末吉保雄氏に師事。1992年、桐朋学園大学音楽学部作曲専攻の研修制度により渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて作曲を平義久氏に師事。1994年、同音楽院作曲科を首席で卒業。この間、パリの日本大使館、サル・コルトー、ドビュッシーの家等で作品が演奏された。また、フランス、メキシコ、イタリアの音楽祭等でも作品が演奏されている。元桐朋中・高等学校教諭。作曲家のグループK.H.O.メンバー。

「祈りの音」を主題に作曲活動を行う。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部作曲専攻を経て、同研究科修了。英国ギルドホール音楽院作曲修士課程を最優秀を得て修了。パーグリー音楽院にて映画音楽を専攻。Vancouver Metropolitan Orchestra、NHKファミリーコンサート等で委嘱作品が初演された他、作編曲作品がカワイ出版及びSchott社より発売されている。日本作曲家協会、日本現代音楽協会、日本ソルフェージュ研究協議会会員。

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院作曲科修了。作曲を石桁真礼生、末吉保雄、ピアノを伊達純、声楽を瀬山詠子の各氏に師事。1986年パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科修了。最高位ディプロマ授与。平義久氏に師事。1986年第36回ヴィオッティ（ヴェルチェッリ）国際作曲コンクール第1位受賞。作品にヴァイオリン協奏曲「滄海の詩」（第18回民音現代作曲音楽祭委嘱作品）等がある。現在桐朋学園大学特命教授。

桐朋学園大学作曲専攻を卒業後同大学研究科を経て東京藝術大学大学院音楽音響創造領域にて修士課程を修了。作曲を三瀬和朗、金子仁美両氏に師事。NHKにて放送された「スコラ 坂本龍一音楽の学校」に出演。現在は映像音楽を軸に、映画、アニメ、ゲーム、広告音楽など幅広く活躍し、パフォーマンスやデザインとのコラボレーション作品も多数。近年は雅楽・邦楽の作品に力を入れており、伝統的な価値観に囚われず新しい可能性を模索するグループ「音・音」所属。

名倉 明子  
Akiko Nagura



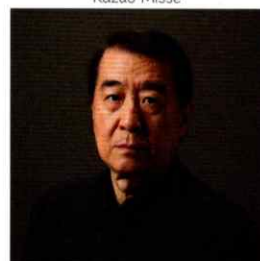
橋本 忠  
Tadashi Hashimoto



深澤 舞  
Mai Fukasawa



三瀬 和朗  
Kazuo Missé



芳澤 奏  
Kana Yoshizawa

